

別紙5:統合型GIS(基本要件)

分類	項目	要件
サービス提供環境	機器環境	一般的なパソコン等が有する基本的な機能のみで動作が可能であるものとする。 発注者で保有する端末は以下のとおり。 ・CPU :Intel第13世代 Core i5 1335U 最大4.60GHz ・メモリ :16GB ・SSD :256GB ・OS :Windows11 Pro 64bit版
	ネットワーク環境	利用者にサービスを提供するネットワーク環境はマイナンバー利用事務系とすること。 クライアントパソコンが利用するマイナンバー利用事務系のネットワークの回線速度は以下のとおり。 ・庁内 :1Gbps ・本庁ー出先間 :100Mbps マイナンバー利用事務系上の通信経路においては暗号化を行うこと。受注者は発注者と協議により、発注者の通信環境に対応すること。
	データ管理	日本国の法律が及ぶ範囲にシステム環境並びにバックアップデータを配置すること。 データのバックアップの要件は、以下のとおりとする。 ・本番環境が搭載されているサーバとは異なる環境にバックアップ取得すること。 ・1日1回/7世代取得すること。 ・搭載するレイヤ数に制限がないこと。
	サービス提供時間	原則、24時間365日利用可能とすること。 システムの稼働率は99.5%以上であること。 ただし、保守等の予定された停止については、この限りではない。
接続端末台数	利用者側接続端末台数	別紙1「システム全体像」に記載のとおりとする。
	管理者側接続端末台数	利用者側接続端末台数に含む。 ユーザ管理機能により、システム管理者を設定するものとする。
デザイン・操作性	デザイン	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。 利用者にわかりやすく、操作性が高く、効率的な運用が可能であること。 ・ストレスなく地図遷移や画面展開が可能である等、動作速度が優れたシステムであること。 ・利用者にとって簡便で分かりやすい操作体系と機能の配置によりマニュアルを見なくても利用可能なインターフェースとすること。
情報セキュリティ	システムログ	エラー情報の把握やUI/UXの改善に必要となるログ情報を取得すること。
	アクセス・操作ログ	アクセスログ・操作ログを取得すること。ログ等からシステムにアクセスした職員を特定できること。
	不正プログラム対策	システム(サービス)の稼働環境及び開発・テスト環境においては、コンピュータウイルス等不正プログラムの侵入や外部からの不正アクセスが起きないよう対策を講じるとともに、それら対策で用いるソフトウェアは常に最新の状態に保つこと。 システム(サービス)の稼働環境及び開発・テスト環境で用いるOSやソフトウェアは、不正プログラム対策に係るパッチやバージョンアップ等適宜実施できる環境を準備すること。
サービス終了時・契約終了時	保有データの提供	サービス開始後に利用者が入力した情報及び発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報(発注者が提供を希望する情報)については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。

大規模な 時等の対 応	保有デー タの消去 等	サービスを終了若しくはサービス利用契約終了後は、発注者が提供を希望する保有データを提供ののち、速やかにシステムから消去すること。消去においては、復元不可能な状態にすること。
利用規約 等	利用規約 への同意	利用者に利用規約の内容を提示し、確認(同意)をとる機能を有すること。
問いわ せ機能	-	問い合わせ方法に関する情報が掲載できること。
統計機能	-	システム運用状況は、定期及び任意で以下を集計できること。 ・稼働率 ・インシデント発生状況 ・問い合わせ実績
	-	サービス利用状況について、定期及び任意で以下を集計できること。 ・現在ログインしているユーザ数 ・ログインしたユーザの数 ・ユーザ毎のログイン数
関係法規 制への対 応	-	サービスの稼働、運用・提供に係る関係法規制を遵守するとともに、常に最新動向を把握し、適宜必要な見直し・改善を実施すること。
資格管理 (管理側 アカウント 管理)	管理情報	システム管理者及びユーザを登録できること。 また、以下のユーザ管理に対応すること。 ・IDとパスワードによるユーザ認証 ・ユーザ毎の操作権限設定(閲覧、編集等)ができること。 ・ログイン中の端末のうち、一定時間システム操作がないものを自動ログオフできること。 ・窓口業務等に利用するユーザ等、特定のユーザが常にログインできる仕組みを有すること。
	アカウント 設定方	登録できるユーザ数に制限がないこと。 管理者によるパスワードのリセット(又は再設定)ができること。